

団体名	鈴鹿大学						
事業名	多文化地域交流フェスタ						
実施期間	2018年7月21日～11月24日						
場 所	鈴鹿大学						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	91	28	37	39	34	164	393

<実施内容>

留学生をはじめとした外国人学生と地域の方々が、さまざまな背景をもつ個人として、おたがいを理解し、自分のことを伝えあう双方向の交流を行うためのイベントを企画して実施しました。気楽に、自由に、ゆったりと、十分な交流を最後の「多文化交流パーティー」で行えるよう、イベントを重ねていきました。

7月21日の多文化交流ワークショップは、交流の体験と、つながっていくきっかけづくりをめざしたものです。三重県の地域と学生のマッチング事業で経験豊富な特定非営利活動法人Mブリッジからファシリテーターを招き、多化共生社会での職業観や仕事観が見えるような体験型ワークショップを行いました。このワークショップの後に、鈴鹿大学の外国人学生を主体とした多文化交流パーティー運営委員会を立ち上げ、パーティーの準備と当日の運営を行いました。

10月18日には、第21回 外国人日本語スピーチコンテスト学内大会を開催し、本選に進む鈴鹿大学留学生の代表を決定しました。10月28日の第21回 外国人日本語スピーチコンテスト本選では、三重県下の大学、日本語学校に在籍する留学生10名がそれぞれの思いのこもったスピーチを発表し、スピーチ後の質問コーナーで観客からの質問に答えました。

11月24日の午前には、第4回 外国につながる人の母語・継承語スピーチ発表会を開催しました。外国につながる人たちが、日本語ではない母語・継承語で、これまでに体験したこと、今の思い、これから進んでいく道について発表したスピーチを聞きました。24日午後には、第2回 多文化交流パーティーを開催しました。各国の料理や飲み物を体験しながら、留学生を始めとした外国人学生と地域住民、様々な立場の人が、伊勢湾と鈴鹿山脈を見下ろす鈴鹿大学の大学食堂に集まり交流しました。

<記録写真>



多文化交流ワークショップ



外国人日本語スピーチコンテスト



外国につながる人の母語・継承語スピーチ発表会

<参加者からのコメント>

マイ タオリーさん(ベトナム)/Mai Thao Ly

多文化交流パーティーに参加して、多くの方とお話しておかげで、日本の文化だけではなく、色々な国の文化や食べ物を体験し、理解することができました。

また、私の国ベトナムの食べ物について説明することができました。その後、多くの方がベトナムの料理をとり、食べてくれてすぐになくなったので、喜んでもらえたと思います。

パーティーに参加したみなさんとはベトナム語でもあいさつができ、本当に嬉しかったです。次の多文化交流パーティーにもぜひ参加したいです。

ミカエル ハラカワさん(ブラジル)/Michael Harakawa

母語継承語のスピーチコンテストにスピーカーとして参加しました。普段、人前で母語で話す機会はありませんでしたが、緊張しましたが、発表していくうちに慣れて、すらすら話せるようになりました。スピーチの内容も、自分なりに頑張って作成しました。若者言葉が多かったかもしれませんが、自分が伝えたかった事は伝えられたと思います。日本で過ごした一人の外国人が何を感じたのか、何を築き上げてきたのか、多くの人に伝われば良いと思っています。人前で話す事が苦手な僕でも話せたのですから、より多くの人が参加すると思います。